



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月14日

日本鉄道労働組合連合会

## JR東海ユニオン 第6回団体交渉

# 定昇・ベア・夏季手当の満額回答を求める

**会社は前回交渉同様、赤字決算予想を理由に厳しい態度に終始！**

JR東海ユニオンは3月10日、2022年春季生活闘争の第6回団体交渉を行い、これまでの団体交渉での議論に基づき、総括的な議論を展開した。

交渉では会社から、定期昇給の重みについて認識を確認するとともに、名古屋セントラル病院でコロナ対応に尽力した社員等に対して「慰労金（1人につき2万円）」を支給すること、東海道新幹線を利用した通勤において乗車距離の上限拡大（300→400キロ）を育児・介護の事情がある本社社員で試行することなどが示された。

一方、ベアや夏季手当については、組合員の期待に応えるよう満額回答を求めるJR東海ユニオンの主張に対し、会社は「2期連続の赤字決算予想であり、厳しい判断とならざるを得ない」との主張を繰り返すなど、慎重な態度に終始した。

JR東海ユニオンは、非常に厳しい団体交渉を余儀なくされているものの、コロナ禍の中、現場最前線で社業を支えてきた組合員の負託に応えるべく、粘り強く会社に対して満額回答を求めていくこととしている。

【主な議論内容】 ※下線部は、現時点で前進を確認した事項

### I 基準内賃金の改善について

定期昇給の完全実施、ベア1,000円、各種（調整・扶養・役付）手当の拡大・増額

### II 制度改善要求について

手当支給、組織内コミュニケーション、柔軟な就労環境の整備、適正な要員配置、労働時間管理の適正化、業務効率化、勤務制約者を包摂した柔軟な働き方、人事処遇・評価、60歳以上の労働条件、福利厚生制度、各種ハラスメント対応、グループ会社の労働条件

### III 夏季手当について

支給月数（基準内賃金及び補償措置額の2.7箇月）、支給日（6月30日） など